



大きくなって帰って！ (白井小6年生がサケの稚魚を放流)

広報 しるね

4/1

No.329

毎月1・15日発行
発行日/昭和58年4月1日 発行所/白根市役所

きまりを守り 明るく楽しいまちづくり



今月の表紙

大きくなって帰って！
(サケの稚魚を放流)

河川環境の保全、捕る漁業から育てる漁業へと、各地で「サケ」の放流、がさかんに行われています。信濃川漁協でも3月18日、信濃川の白井橋上流に、新潟市の舞潟ふ化場で育った稚魚を約50万匹放流しました。

当日は、あいにくの天候でしたが、白井小の6年生もお手伝い。寒い寒いと言いつつも、初めて見る稚魚に愛らしさを感じてか「元気に帰ってきて」と、別れを告げていました。



タネツケバナ (アブラナ科)

花はナズナより大きく、茎がやや黒紫色になる。イネの種もみを水に漬けるころ、花がさかんに咲くのでこの名がついたという。春耕前の田に、一面に咲いた花は淡片を思わせる。果実は熟すと2つにさけて、種子をとばす。

平野の植物

資料・写真提供 白根地区理科教育センター (☎2924)

<p>募集します</p> <p>ボランティア募集 ハンディのある人の手助けをしてくれるボランティアを募集します。市内及び近郷の在住者。新しく高校生、社会人になられた人歓迎。年会費3千円。もしあるサークル(大那 総・下古川・☎2077)</p>	<p>仲間になりませんか</p> <p>白根民謡協会 大人も子供も気軽にどうぞ。毎週木曜日 19時30分。産業厚生会館。どなたでも。民謡・踊り楽謡会。民謡の唄い方を練習してみませんか。毎週火曜日 19時30分。21時。中央公民館。どなたでも。講師は津川直氏。以上、庭山仁司(魚町・☎2658)</p>	<p>お出かけください</p> <p>花見交流会 4月24日 9時~16時。村松公園(雨天の時は老人センターで室内親睦会)。どなたでも。ハンディのある人大歓迎。参加費500円。昼食持参。4月21日までに、そしあるサークル(大那 総・下古川・☎2077)</p> <p>ゆにれつくイン春を踊ろう 第1部 4月11日 19時30分~22時。青年教育センター。どなたでも。インドアアスレチックとガラスキャンドルサービス 第2部 4月17日 9時30分~12時。市街地。どなたでも。ウォークラリー。以上、サークルゆにれつく事務局(古川正利・飯島新田・☎4407)</p> <p>残雪登山と山スキー 4月17日。王子岳。どなたでも。山岳会事務局(赤塚清一・みの口・☎3430)</p>	<p>招請願の「ごあんない」</p> <p>庄瀬地区 4月15日 10時。荘瀬神社。新飯田地区 4月17日 10時。新飯田神明宮。福祉事務所庶務係(☎2111) (☎250)</p>	<p>休職します</p> <p>小林地区 4月19日 8時30分~正午。戸頭の一部。根岸の一部。東北電力白根営業所(☎3141)</p>	<p>新飯田地区</p> <p>地区民バレーボール大会 4月17日 8時30分。中学校体育館。地区民、地区内に勤務している人。地区公民館(☎2001)</p>
--	---	--	--	---	--

情報

記号の説明
対象者
内容
問い合わせ

情報センター297は、市民の皆さんから自由に使っていただくコーナーです。掲載申し込みは広報広聴係(☎2111) (☎297)

編集デスク

昭和57年版の青少年白書によれば「青少年を健全に育てるには、幼いころのしつけや家庭教育が大切」と、回答している親が89%でトップだそうです。しかし、社会一般の評価では、青少年のしつけが行き届いていないと思う人が約半数を占めているとも白書では言っています。

親は家庭でしつけが大切と思いつつ、なかなか手が届かないのが現状なのでしょう。さて、今年も市内小学校10校で、499人のピカピカ1年生が誕生します。このころの笑顔が、いつの日も絶えることのないよう、家庭、地域ぐるみで健全に育てていきたいものです。

数字でみる市勢

3月1日現在 (内は前月比)

人口	34,003人 (+7人)
男	16,546人 (±0人)
女	17,457人 (+7人)
世帯	7,683世帯 (+6世帯)

2月中の
出生 33人 死亡 26人
転入 46人 転出 46人

408位——全国には651市ありますが、面積の広い順では、79.25km²の白根市は408位。人口の多い順は564位です。

発行/白根市役所 (新潟県白根市大字白根1235番地 ☎0253(☎2111) 〒950-12) ■編集/企画財政課広報広聴係